

病理組織検査（1）

【 固定→切り出し→脱水→包埋→薄切】

医学研究科附属総合解剖センター

医学博士 戸田 好信

Yoshinobu Toda Ph.D.

固 定

細胞，組織成分の変性を防ぎ，標本作製過程における組織の変質を防ぐために行う。

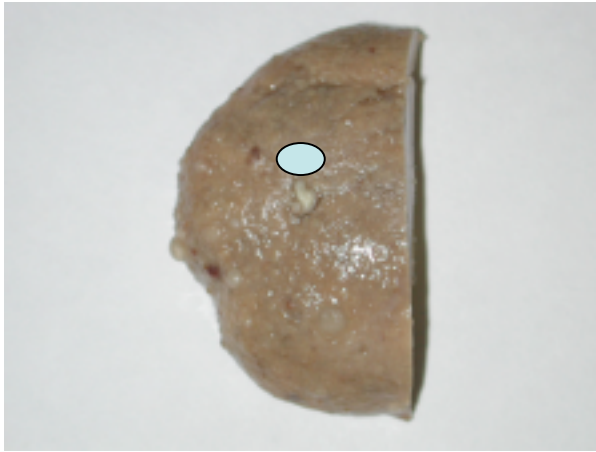
種類： ホルマリン固定，アルコール固定，
ブアン固定など

固定液の量は，組織に含まれる水分や浸透効果を考慮して十分な量が望ましい。

組織片の10倍量が目安となる。

固定時間は組織片の大きさ，固定液の種類による浸透性や組織に与える影響，温度などにより異なるが，通常用いる10%ホルマリン固定の場合24時間から48時間固定を行う。

HE標本作製行程



固定臓器



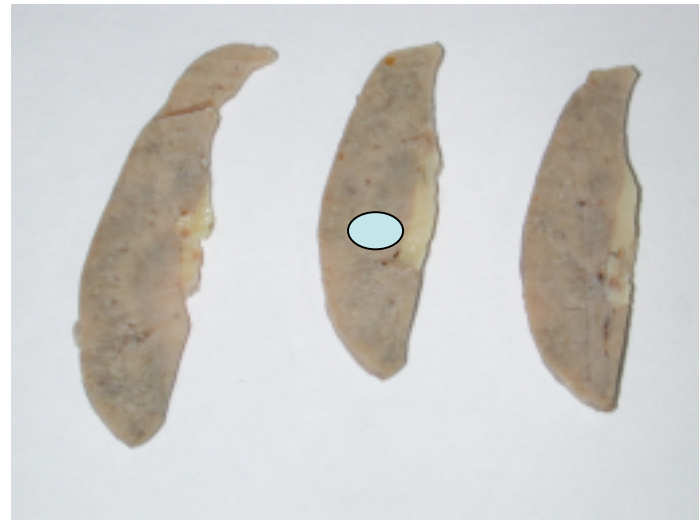
必要な部分の
切り出し



HE染色標本



詳細は次
のスライド



固定

切り出し

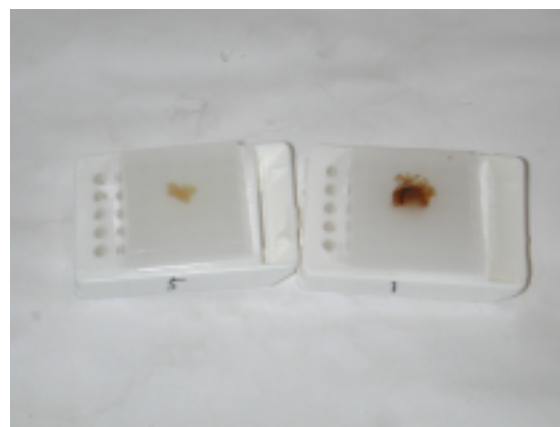
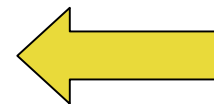
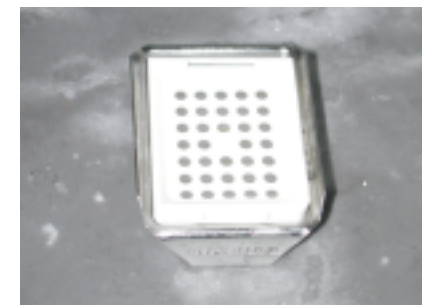
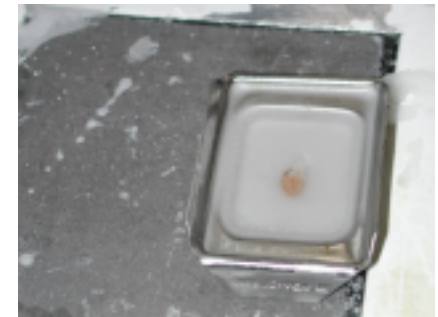
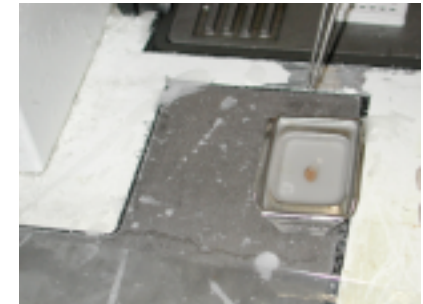
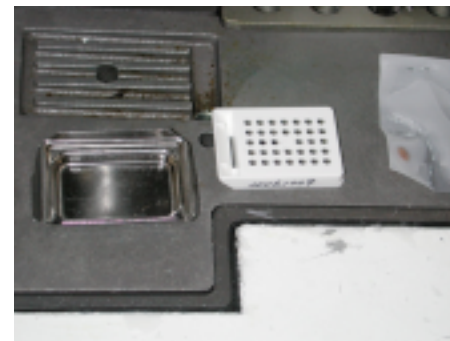
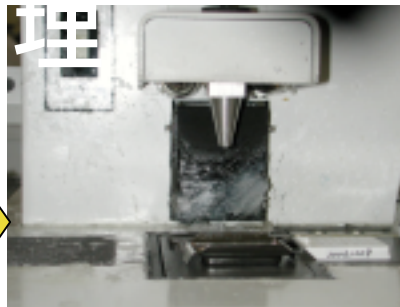
脱水・脱脂(アルコール)

脱アルコール(キシレン)

パラフィン浸透

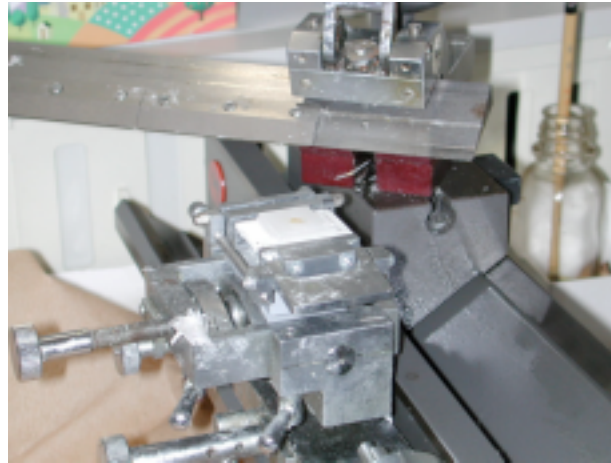
パラフィン包埋

標本作製行程

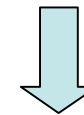
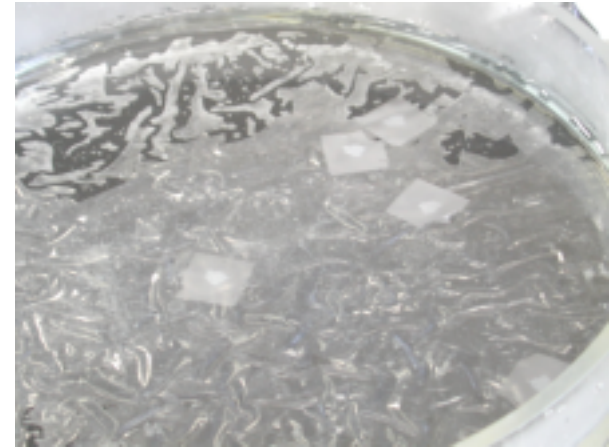


パラフィンブロック

薄 切



伸 展



染色前の状態

